

いずみ

令和6年度 1月号
図書委員会 2年8組
川内美空 ・ 矢野竜成



3学期になりましたね。年末年始は、本を読んでゆっくりする時間はありましたか？小説を読む人が少なくなつたという話は聞いたことがありましたが、最近では、マンガを読む人も少なくなつてきていると聞いています。物語という人間の想像力の結晶を、ぜひ多くの方に味わっていただければと思います。

さて、図書委員会では、12月に第2回ブックショッピングをしてきました。どんな本を購入してきたのか、今月号はその報告になります。興味のある本があれば、ぜひ図書館に借りに来てくださいね。



12月18日(水)、三越のジュンク堂書店さんへブックショッピングに行きました。面白そうな本がたくさん並んでいて、皆で予算内に収まるように悩みに悩んで選びました。図書館に置かれるのは1月頃ということなので、ぜひ借りに来てください。

《購入した主な本》



・『赤ずきん、アラビアンナイトで死体と出会う。』 著：青柳碧人(双葉社)

童話×ミステリー第3弾！またまた事件に巻き込まれた赤ずきん。謎をスッキリ解決！できるのででしょうか。

・『この人、行方不明』 著：フェイクドキュメンタリー(双葉社)

番組のコンセプトは、ワケあってお蔵入りした放送や、個人が偶然撮影したヤバい映像などの再編集。いずれもフィクションですが、そうとは思えないリアリティがあるところが魅力です。

・『十字屋敷のピエロ』 著：東野圭吾(講談社)

資産家一族に降りかかる惨劇の様子が、ピエロ人形「僕」の視点を交えながら語り継がれて行く本格長編推理小説です。

・『むかしむかしあるところに死体があってもめでたし。めでたし。』 著：青柳碧人(双葉社)

日本の昔話をミステリーで読み解いた「むか死」シリーズの最新刊にして最終巻。登場する昔話は「こぶとりじいさん」、「耳なし芳一」、「舌切り雀」、「三年寝太郎」そして「金太郎」です。



この本以外にも面白そうな本がたくさん追加されます。

また、書店でもたくさん本が売ってありますので、買いに行ってみてはいかがでしょうか。





《図書委員おススメの本 part 7》



書名	作品名	お薦めの理由	図書委員
夜行	森見登美彦	この本のおすすめポイントは、不気味で後味が悪い所です。そのため、何度でも読みたくなり一回一回読むごとに、新たな見方が浮かび上がってきます。また、一章一章がつながっており、物語の終盤で今までの伏線が回収されたりします。ホラーが好きな人、謎解きが好きな人は必見です！ぜひ、読んでください。	101
推し、燃ゆ	宇佐美りん	推しが炎上してからの主人公の感情がリアルで鮮明に書かれています。「メロスは激怒した」、「吾輩は猫である」と同じ形式で、最初の言葉「推しが炎上した」で物語が始まり、導入も魅力的です。	101
変な家	雨穴	家の謎を自分で見つけて解決することができる。ホラーが苦手な人でも楽しく読むことができる。	102
ラプラスの魔女	東野圭吾	連続して温泉地(硫化水素)で事件が起こり、その事件を解決するために教授と少女が協力する物語。映画化されています！物語が進むにつれ、この本の良さがじわじわと伝わってきます。ぜひ、読んでみてください。	102
52ヘルツのクジラたち	町田その子	辛い経験をしてきた52とキナコが最果ての町で運命的な出会いをし、第二の人生が始まる場面に感動。	103
バスカヴィル家の犬	コナン Doyle	怪物犬がバスカヴィル家の家主を殺したのか。シャーロックホームズと助手のワトソンが事件の真実を解きあかしていく。スリル満点の作品です。	103
嘘をもうひとつだけ	東野圭吾	この本は、嘘にまつわる六つのミステリー短編小説です。嘘をつくことはいけないことですか？人間誰しもつくものですよ。大切なものを守るために嘘をつき、罪を犯す、皆さんの嘘の形は？気になった人は読んでみてください。	104
不審者	井岡瞬	最初から最後まで通して不気味な印象だけど謎が解けた時の爽快感は素晴らしかったです。特に、物語中盤から徐々にいろいろとひっくり返されるようなところが、一番ワクワクしました。ぜひ、読んでみてください。	104
魔女と過ごした7日間	東野圭吾	この本は、AIに監視が強化された日本を題材にした少年によるお話です。僕はこの本を読んで心に残る言葉と出会いました。ぜひ、読んでみてください。	105
あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら	汐見夏衛	主人公の女の子が母親とけんかをして家を飛び出し目を覚ますと約70年前の日本にタイムスリップしてしまいます。この本は、戦争の辛さや、大切な人を亡くしてしまう悲しさなどを教えてくれるとても感動する本です。	105
ひとつ拾えばひとつだけきれいになる	鍵山秀三郎	この本には自分の人生に生かしていけるような教訓などが書かれています。よりよい人生を歩んでいきたいという方におすすめです。	106
汝、星のごとく	凧良ゆう	プロローグとエピローグ、似ているけれどまったく違う文章。理不尽で辛いことの連続でとにかく苦しくて、悔しくて、読んでいて胸が痛くなる話。切ないラストだけど、とてもあたたかい気持ちになる。	106